

志の高い人づくりと製造・技術No.1を目指して

深澤電工株式会社

所在地 駿東郡長泉町桜堤3丁目6-14
 代表者名 深澤 好正
 創業 昭和37年10月
 資本金 20,000千円
 従業員数 64人
 主要製品 電子機器組立（電子回路の開発・設計、
 基板製造）、分析機器の修理、自社製品
 （ハイブリッドハンドドライヤー）の開
 発・生産
 電話 055-988-5131
 F A X 055-988-5106
 U R L <http://www.fd-kk.com>



あらゆるニーズに応える「変種変量」生産

深澤電工株式会社は長泉町に本社工場とジャスティス桜堤（新工場）を構え、創業から53年の歴史を持つ。蓄積した経験とノウハウを活かし、電子回路の設計・開発や基板製造など電子機器を中心に、大量生産から「変種変量」までの生産により、あらゆるニーズに応える「ものづくり」が特徴。また、東部地域では同社しかできないX線分析装置等の修理を手掛けるほか、自社製品としてハイブリッドハンドドライヤーを販売するなど、チャレンジ精神も旺盛な企業である。



▲5S活動が徹底されている生産現場

ちょっと歳の多い人・ちょっと体の悪い人

高い技術力もさることながら、特筆すべき同社の特徴の1つは「ちょっと歳の多い人、ちょっと体の悪い人（しょうがい者）、普通の人が気持ちよく一緒に仕事ができる職場」という社風が表すように、高齢者、障害者、健常者がトライアングルの支点となり、融合と連携、相乗効果を生みながら生産活動を行っていることだ。最高齢は77歳、最年少は18歳で、「じーじ、ばーば、とーちゃん、かーちゃん、孫までいる会社」と深澤社長は笑う。60歳以上の高齢者が17人（26.6%）、障害者が6人（9.4%）。

それぞれ互いを思いやり、やりがいを感じながら仕事に従事している。社員の多くが電子機器組立ての国家検定資格を有し、同社は障害者雇用や高齢者雇用の大臣表彰も受賞。

「従業員と家族を守る経営」。社長の話からは、その端々から社員への思いが伝わってくる。



▲深澤好正社長

徹底した5S活動



▲事務用品も徹底した5S

特徴の2つ目は徹底した5S活動だ。「整理・整頓・清掃・清潔・躰」の5つ。これは単にきれいな職場を目指しているのではなく「5Sは経営そのもの」と言う。能率的な職場は生産性を向上させ、安全な職場は労災が起きず、快適な職場やコミュニケーションのある職場から売上げや利益の向上が生まれるという企業活動の基本として取り組んでい

る。「物を探す数分間も会社にとってはコストだ」という言葉が私の胸に突き刺さった。こうした取組を参考にするため、全国各地から今年だけで650人以上が視察に訪れている（取材日11月17日）。製造業だけでなく、華やかな大手航空会社の裏方を支える企業からの視察もあるという。

医療健康産業への本格的な参入へ

近年は大手医療機器メーカーからの受注など医療健康産業へ業容を拡大していた。

高度化・複雑化する医療機器に最適な電子部品の設計・開発を行い、小型で高性能な医療機器の実現に寄与するべく、平成28年1月に医療機器製造業登録を行い、公募を経て平成28年9月から静岡県医療健康産業研究開発センター（ファルマバレーセンター）



▲基板実装装置

の研究開発室に入居した。「ここをコアとして医療健康産業へ本格的に参入し、中期的には医療機器分野で売上げの3割、長期的には自社製品への移行を目指す」と社長は先を見据える。センターでは既に異業種他社と連携し、新たなテーマの研究開発が始まっているほか、大手医療機器メーカーからの新規受注も獲得した。創業から半世紀を経て、センターへの入居を足掛かりに、同社は新しいステップを踏み出している。

（文責：新産業集積課）